

阿賀野川治水計畫速成の件に就ては中北原蒲原郡の治水會に於て最近種々幹慮する所ありしが中間に在たれる坂口代議士より難問する所に依れば政府にても昨年中會議より當審一致を以て請願せしと題目に於ける問題に於て議決次第明年度より直ちに縣費負擔額を以て工事を開始することを本請せし趣旨にて元來ならば阿賀野川工事は大正七年より着手する可きものにて其總工費六百萬ト屬國內負擔は現行法に依れば二百五十萬圓以上なるも政府にても其額甚微以本地方費の増加を期するに意あり多分其期許會に其法規を

債償還を繰延べ其金額を以て之に充當することなる
如く昭和年度よりは成は多少の賦課を免
れざる可しといふ

は去る大日正午賣屋を本館に村越八幡社
社境内に集合し整頓、服装、器具等の點
檢を受けたる後各部操練演習を施行し終
つて宇田町内に警笛出火急を吹び第一二
部は吉澤第二部は字下町より迂回して
現場に駆け付け消防に當らしめたるに其警
作敷活にして威儀可良なりと云ふ右特
つて成澤署長は現場に於て調水及開封を
なし四四時解説を告げたりと

〔新潟一一一〇〕

各地の祝捷

▲五泉町

五泉町に於ては青柳組の公報に接するや一般興賑並に祝捷を揚げし祝意を表し翌八日午前十時市民一般は白山神社に集合の上旗行列を行ひ市中を練り歩き八幡神社に到り同社境内に境内の昭忠碑を參拜し終つて午後二時より五泉高等小学校内に於て盛大なる祝捷會を開催した。

報 雜
十一月一日 通常縣會開始期
今年度の本會復會我に就て臨時縣會の開
かる事やの説ありしも知事は今日の過去
る意志なく其代り通常縣會は如何なる
故解あるも十一月一日より必ず之を開催
す可しどうへり

百廿四萬 となる時元にて之を太
正四、五、六三個年間に支出して、各府縣
の七年度に接続するには、一個年半迄七
十萬圓以上となる可きも明年度

二月十日生専門の技術者を聘し一般燃系
の講習を開催する由受講者は日下定員以
上に達する程の盛況なれば第一回の講習
のみにては満足する能はざるに就き引續
き第二回の講習をなすべき計算なりせ
ば講習の爲め高止べきと云ふべし

〔新潟〕 一〇・一四

中蒲原の五泉町に於ける新潟瓦器製造所に於て昨十三日種苗検査會開催に付し、曾平陽波氏は千田技師を団、同日午前尚ほ右の信人金に就ては充當基準として町債に係るの意見もありと

技术手と工夫
行衛不明

一日未段、地方にて降雨激しく信濃川の増水の報、本局に送るや奥山土木課員は課員全體を召喚し出水に因する執務を爲すしめつゝありしが昨朝一番列車にて水防区域に向つて課員全體を派遣し水防に従事せしめ一面地方開にては被害の實況調査として大平町田阿部の各所屋外數名を各地に急行せしめ該区域の實況を調査に從事せしめつゝあるが今回の中の出水は急激々々極め矢代川の工事に伴ひ中の動手は水防に従事中出水のため

名と共に行衛不明とな
又左側に至り北魚沼郡の
旭橋流失し長岡市の中
長盛橋は百三十間流失し與板橋最も危険

に付か防護中にして中浦原郡阿賀源流は

▲中蒲原郡
阿賀野川出水して昨日午前七時中蒲原郡
川東村大字馬下水、量十五尺に達し同所
越後砂利積下特別線橋梁二十
五間流失し此損害額三百圓なり
信濃川小須戸町水野は昨日午後二時三十
分十八尺に達し小須戸橋梁の崩落あるた
め橋上に大石を載せ警防を爲し且つ上流
より橋材流下の通報ありたるため防止と
して毎五艘小須戸消防船二十餘名を上
流なる小須戸大字水田に派遣し防禦中也
●各川の水量
縣下に於ける十三日來の降雨にて各河川
出水し昨日十四日午前八時半に於ける信濃
川筋小千谷水量二丈二尺、阿賀野川筋津
川町水量二丈三尺又尼治川の水量一丈一
尺に達し尚何れも増水の傾向なるに付き
各沿岸部落民は警戒中なり

東沿岸の警戒に努めつゝありしが小須戸橋極めて危険に頻しきつ去る一日竣工式を挙げたる中、新田の阿賀浦橋も亦危險状態に陥り開拓とも協力せず、中なり又阿賀野川筋延長堤防及び同曲筋の茨川村字覺路付近防護めで危険なりとて警戒警戒は必死となりて警戒となるが千石水禁の二十五尺は實に稀有の事なれば破堤として沿岸部落民は前日迄で暮作に間に報道せしむ更に一昨十四日本縣へ報告し來れる各郷の水害狀況は左の如し

〔新潟八・二七〕

五泉分會員の美舉 五泉町大字能代在郷漁人分會員一同は時局に鑑み何時召募の命に接するや計られざるを以て此際團結心を強固にして置く必要を感じ同會大組合なる者を組織し總て軍隊規律に則り字内を巡回奉りし非常に備ふる目的を以て去る二十四日一回二十三夜塔前に駕外し之れが發會式を舉行したりと云ふ

●阿賀・能代今月中に築堤

○福井川堤防工事進捗 阿賀・能代・福井川水害防護組合の事業たる能代川東堤防工事は既愈共の進捗に努めたるも二回の水害により多少遅引を招きたれど去月三十日堰掃をなしたるため今後は意外工事進行し本月中には大体の築堤を見るに至るべしと云ふ

●水害第一報

大水害來る

各地に於ける水害

小須戸橋
阿賀浦橋危險

明治元年中源原山暴れ大字實有田等十
間地先の堤防の内下方約十五間陥没し又同
村大字高山地内地麻川原地先外堤防約二
十間漏水のため龜裂を生じ危險に瀕せむ
より極力防護に從事せり

新潟八一五

●阿賀筋の狀況

▲ 論瀨堤防破壞